

報告第23号

一般財団法人つくば市国際交流協会の経営状況を説明する書類について

地方自治法（昭和22年法律第67号）第243条の3第2項の規定に基づき、次のとおり提出する。

令和4年9月9日

つくば市長 五十嵐立青

2021 年度 事業報告書

〔 自:2021 年 4 月 1 日
至:2022 年 3 月 31 日 〕

一般財団法人つくば市国際交流協会

1. 一般的事項

(1) 組織及び人員

一般財団法人つくば市国際交流協会の組織は、総務課のみであり、2021年度における役員及び職員等の数は以下のとおりとなっている。

(単位:人)

役員		職員	
理事長(非常勤)	1	事務局長(派遣職員)	1
常務理事	0	総務課	2
理事(非常勤)	9	総務課(派遣職員)	1
監事(非常勤)	2	総務課(会計年度任用職員)	2
		外国人相談員(非常勤嘱託職員) 2021年9月30日まで	4
		印紙証紙売りさばき所(会計年度任用職員)	3
計	12	計	13

(2) 評議員会

第1回評議員会(2021年6月9日)(ZOOM)

- (ア) 2020年度計算書類について承認
- (イ) 理事・評議員の選任について承認

(3) 理事会

第1回理事会(2021年5月24日)(ZOOM)

- (ア) 2020年度事業報告及び計算書類について承認
- (イ) 評議員会招集について承認

第2回理事会(2021年10月6日)(ZOOM)

- (ア) 2021年度の進捗状況及び課題について協議
- (イ) 2022年度事業計画の方針について協議
- (ウ) 理事長による職務執行状況の報告

第3回理事会(2022年2月21日)(ZOOM)

- (イ) 2022年度事業計画及び収支予算書について承認
- (ロ) 借入金最高限度額の承認について承認
- (ハ) 理事長による職務執行状況について報告

臨時理事会(2022年3月22日)(決議の省略)

- (ア) 一般財団法人つくば市国際交流協会の事務所移転先及び移転時期の承認について

2021 年度事業計画（方針）

つくば市国際交流協会は、平成 25 年(2013 年)2月に一般財団法人として設立され、同年4月から業務を開始し 8 年目を迎えようとしております。

2020 年9月1日現在、つくば市には 138 か国 9,590 名の外国人が居住しており、近年はベトナム、インド、フィリピン国籍者数が増加しております。

また、発足当初から実施してきました「外国人のための相談室」事業につきましては、従来からの利用者減少のため、市と相談の上、協会における相談事業の在り方について具体的に精査をし、実行したいと考えております。

2021 年度は、支援の必要な外国人につながるこどものため、行政、教育関係又は関係団体等と連携し、より強い体制を整えたいと考えております。

2020 年初頭から始まったコロナウイルス感染が、現在も収束しておりません。2020 年度には、当初の計画と事業形態を変えて実施してきたものも多くあります。このようなことから、2021 年度も状況に対応するため、つくば市からの補助金を柔軟に使っていきたいと思っております。

2021 年度は、今までの活動を踏まえ一部事業を見直し、下記3点を重点目標として取り組みます。

1 市民に協会を知ってもらいます。

これまで、当協会では、多くの事業を手掛けて来ましたが、残念ながら「知る人ぞ知る」協会となり、誰もが知る協会とは、大きくかけ離れた状況になっておりました。これらの現状から脱却するために、いくつかの方法を検証、実践します。

2 外国につながるこどもの支援をします

つくば市において日本語支援が必要な児童生徒は 215 人(2020 年 5 月 1 日現在)であり、茨城県全体の 50%以上が市内小中学校に在籍しています。日常会話だけでなく知識を学ぶための言葉の力を身に付ける必要がありますが、長期間にわたる丁寧な関りが必要です。また、学齢期を超えたこどもが学ぶ機会も少ない状況にあります。これらの課題に対応するため、(仮称)放課後日本語クラスを開催します。

3 協会の経営を見直します

2020 年度コロナウイルス感染拡大の影響を受け、収益事業が大きな打撃を受けました。当初計画していたビジネスモデルは収益が当初の予定の 5 分の1にしかならず大幅に予定を下回り危機的状況になりました。これらのことから、経営の見直しを行います。

2. 2021 年度 事業概要

基本方針

多様な国際交流や国際的な相互理解に基づく多文化共生を推進する事により、国際感覚にあふれた人材の育成と国際拠点都市つくばに相応しい世界に開かれた地域社会の創造に寄与することを目的として、各種事業を実施する。

(1) つくば市国際交流協会 事業一覧表

(ア) 国際交流事業

A 外国人生活支援事業(対象:外国人)	
1	日本語講座(大人向け) (ア) 日本語講座 (イ) 日本語ボランティア講師入門講座
2	こども日本語・就学進学支援 (ア) こども日本語指導者研修会(新規) (イ) プレスクール・プレクラス(拡充) (ウ) こども日本語勉強会(新規) (エ) こども日本語支援プラットフォーム会議
3	医療通訳ボランティア派遣
4	外国人のための相談室(見直し)
5	メディカル英会話講座
B 文化交流事業(対象:日本人・外国人)	
1	つくばフェスティバル(国際交流フェア)
2	文化交流 (ア) 世界お茶のみ話 (イ) 日本・外国文化体験 (ウ) 世界のうまいもんをつくばで
3	おもてなし英会話(英語観光ガイドボランティア募集は継続)
4	通訳・翻訳・ホームステイ・文化紹介ボランティア募集・派遣
5	シティチャットカフェ
6	姉妹友好都市交流事業
7	他団体との協働・連携
C 情報収集・周知・ニーズ調査事業(対象:外国人・日本人)	
1	ホームページ・facebook・Link!発行・ニーズ調査(座談会)
2	賛助会員募集

(イ) 旅券発給支援事業

D 旅券発給支援に関する事業(対象:日本人)

(2) 事業詳細

A 外国人生活支援事業(対象:外国人)

1 日本語講座(大人向け)

【概要】

つくば市に在住する外国人を対象に、日常生活に必要な日本語の習得を目的として、教室運営を日本語ボランティア講師(TIVONA の会)にお願いし、新型コロナウイルス感染拡大防止のためオンライン(Zoom)開催とした。

また、ボランティアの育成のため、日本語ボランティア入門講座を開催した。

【実績】

(ア) 日本語講座

①クラス数：全8クラス(日本語1～3・日本語の会)

②期 間：前期(4月～9月、160回)、後期(10月～3月、160回)

③方 法：オンライン(Zoom)開催

④受講者数及び講師数：

	受講者	講師
前 期	104 名	23 名
後 期	127 名	34 名
合 計	231 名	57 名

⑤参加費：無料

(イ) 日本語ボランティア講師入門講座

①期 日：2021年11月18日、25日、12月2日、9日(全4回)

②講 師：井上里鶴(りず)氏 茨城県日本語教育アドバイザー、
TIVONA の会

③対象者：ボランティアで外国人に日本語を教えてみたい人

④方 法：オンライン(Zoom)開催

⑤参加者：20名

⑥参加費：2,500円

2 こども日本語・就学・進学支援

【概要】

外国につながるのあるこども達の日本語指導及び就学・進学支援を行うため、日本語指導者研修会や就学・進学ガイダンスを行うプレスクール・プレクラス等を関係団体と連携して実施する。

【実績】

(ア)こども日本語指導者研修会

日本語指導が必要な児童生徒に対する指導者を育成するため、2回の座学と、2回の実習を実施した。なお、新型コロナウイルス感染症の影響により、実習の一部は 2022 年度に延期になった。

- ①開催日：2021年7月10日～9月10日(うち4日間)
- ②場 所：つくば国際会議場及び、つくばスタートアップパーク内
- ③参加者：27名
- ④参加費：2,000円

(イ)プレスクール・プレクラス(小中学校・高校ガイダンス 日本語力チェック)

つくば市教育委員会から委託を受け、プレスクール・プレクラスを2回開催し、小中学校及び高校進学ガイダンスと、日本語力チェック及び日本語学習のアドバイスを実施した。

第1回

- ①開催日：2021年8月21日、28日
- ②場 所：オンライン開催(Zoom)
- ③内 容：日本語学習
小中学校ガイダンス、高校進学ガイダンス
- ④参加者：日本語学習1名、ボランティア1名
小中学校ガイダンス3家庭、通訳1名、スタッフ1名
高校進学ガイダンス1家庭、通訳1名、スタッフ1名
- ⑤対応言語：英語
- ⑥参加費：無料

第2回

- ①開催日：2022年3月12日
- ②場 所：つくばイノベーションプラザ
- ③内 容：日本語力チェックと日本語学習のアドバイス
小中学校ガイダンス、高校進学ガイダンス
- ④参加者：日本語関係：5名、通訳3名、スタッフ3名
小中学校ガイダンス：18家庭、通訳4名、スタッフ1名
高校進学ガイダンス：4家庭、通訳2名、スタッフ1名
- ⑤対応言語：日本語、英語、中国語、スペイン語、タイ語、ダリ語
- ⑥参加費：無料

(ウ)こども日本語勉強会

2021年度茨城県提案型共助社会づくり支援事業を受託した認定 NPO 法人リヴォルヴ学校

教育研究所との協働により、こども日本語勉強会を開催した。

- ①開催日：(前期) 2021年4月20日～2021年10月15日(火曜日、金曜日)
(後期) 2021年10月12日～2022年3月18日(火曜日、金曜日)
- ②回数：クラス60回、日本語力チェック及び保護者面談9回、
緊急事態宣言による中止7回
- ③対象：(前期)：吾妻、春日、竹園地域の5年生以上高校生以下
(後期)：つくば市内の公立学校に通う5年生以上高校生以下
- ④参加者：18人(延べ605人、平均10.1人)(トルコ(日本)、エジプト、インド、スーダン、パキスタン、マレーシア、スリランカ、タイ、ペルー、日本(ドイツ))
- ⑤講師：11人(延べ387人 平均6.9人)
- ⑥内容：講師は、こどもの日本語力を確認するとともにその状況を保護者に説明し、こどものレベルに合ったテキストに沿って学習に臨めるようにした。また、定期的にミーティングを実施し、指導方法についてを講師間で共有した。
勉強会は、緊急事態宣言が発せられたため7回の中断があったが、オンライン学習(Zoom)を取り入れるなど柔軟に対応した。
- ⑦参加費：無料

(エ)つくばこども日本語支援プラットフォーム

市内の小中学校において日本語学習が必要な児童生徒への支援方法について、日本語教育に携わる団体等が情報共有と情報交換を行い、具体的な活動に繋げていく機会を作ることなどを目的に実施した。

構成団体：筑波大学、筑波学院大学、風の会、つくば市教育委員会学び推進課、つくば市市民部国際交流室、当協会、NPOセンターコモンズ(アドバイザー)

第1回

- ①開催日：7月19日(オンライン)
- ②内容：つくば市の日本語学習要支援者の課題整理及び具体的な活動について議論した。

第2回

- ①開催日：12月27日(オンライン)
- ②内容：こども日本語支援などに関する各団体の取組状況と課題を議論した。

3 医療通訳ボランティア派遣

【概要】

外国人が医療機関を受診する際、母国語で安心して診察を受けられるように、「医療通訳ボランティア派遣協定」を締結した医療機関の依頼に基づいて、医療通訳ボランティアを派遣した。

【実績】

派遣件数：8件（英語1件、中国語6件、スペイン語1件）

【参考】

2019年度から医療機関と医療通訳ボランティア派遣協定を締結し、費用の有料化を開始した。筑波大学附属病院、筑波メディカルセンター病院、いちほら病院及び茨城県立医療大学附属病院の4医療機関と協定締結している。

派遣料：1回 3,000円

4 外国人のための相談室(2021年9月30日事業終了)

【概要】

つくば市に在住・在勤・在学する外国人を対象に、在留資格・婚姻・行政手続き等の相談に対して、外国人生活相談員4名(英語2名／中国語2名)を配置し、相談業務を行った。

【実績】

- ①開催回数：25回（原則、毎週水曜日の10時から13時まで）
- ②相談者数：15名対応(英語15件)
- ③相談方法：対面8件、メール3件、電話4件
- ④相談内容：在留資格、出入国手続き、婚姻、運転免許、就労・雇用、健康・医療、子育て、家庭内トラブル、他
- ⑤相談料：無料

5 メディカル英会話講座

【概要】

医療従事者を対象に、外国人の病院受診で必要となる受付・問診票の記入・医師の診察・支払いや保険の説明・次回の予約についてのメディカル英会話講座を行った。

新型コロナウイルス感染防止の観点から、Zoom利用によるオンライン講座として実施した。

【実績】

- ①期 日：11月3日(水・祝) 60分/回
- ②場 所：Zoom利用によるオンライン講座
- ③内 容：「薬の処方」・「内科」・「受付」・「産婦人科」の4科目
- ④参加者：延べ70人
(「薬の処方」17人・「内科」20人・「受付」21人・「産婦人科」12人)

B 文化交流事業(対象:日本人・外国人)

1 フェスティバル事業(国際交流フェア)

【概要】

外国文化の体験(団体活動紹介、民芸品展示・販売、各国の料理販売)を通して、異文化の理解や交流を目的として開催する。

【実績】

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、オンラインで実施した。

①世界の料理を楽しもう 講師 8 人・韓国大田広域市外国人統合支援センター

既存の協会 HP から

子どもも作れる世界の料理

11 か国(インドネシア、ウズベキスタン、カザフスタン、ジョージア、中国、ネパール、ブルガリア、リトアニア、ウクライナ、韓国、タイ)の13のレシピを紹介
実際に作った人に出来上がり写真を提供してもらい、その人たちに各国の雑貨をプレゼントした。応募 13 人、9 人に送付

②世界の文化を見てみよう 発表者 2 人

モンゴルゲルの建て方紹介、あるブラジル高校生のくらしと思い、世界お茶のみ話
バックナンバー

③世界お茶のみ話 講師 1 人

アルメイダ・ミCHEル(メキシコ)

④語学交流サロン 講師 4 団体

(TIVONA の会、日本つくば国際学院、SwiT つくばで国際交流しよう言語オタク部、
アクノーつくば)個人参加 1 人

中国語、韓国語、ロシア語、スペイン語、ベトナム語、日本語 全 10 講座
参加者 105 人、講師等 33 人

2 文化交流

(ア)「～一杯のお茶から世界が見える～ 世界お茶のみ話」(交流会)

【概要】

主に講演者の母国の紹介又は外国人の支援などを行う方々の活動を紹介し、国際理解の一助となることを目的として実施した。

【実績】

期日	国名	講師	参加者数 ()は人数制限	YouTube 閲覧数 (2022年 3月31日時点)
2021年 4月17日	フィリピン	レイモンド エスクデロ	16名(20名)	1,412回
5月15日	メキシコ	アルメイダ ミチエル	無観客 オンライン開催	400回
6月19日	キルギス	ボロトベック クズ サイカル	17名(20名)	217回
7月17日	ロシア【中継】	レナ ミカイロヴァ	17名(20名)	185回
8月21日	ウズベキスタン	ユリダーシェヴァ ノジマ	延期	-
9月18日	トルコ	カフラマン 菜奈恵	無観客 オンライン開催	306回
10月16日	中国	ゴ シショウ	6名(20名)	378回
11月20日	ヨーロッパ一周バック パッカー1人旅	難波 祐治	12名(20名)	1,807回
12月18日	つくばインターナショ ナルスクール	TISの生徒の皆さん	17名(20名)	216回
2022年 1月15日	ウズベキスタン	ユリダーシェヴァ ノジマ	16名(20名)	245回
2月19日	ウガンダ	カソジ マイケル	8名(10名)	168回
3月19日	リトアニア【中継】	瀬戸 はるか	10名(10名)	72回

新型コロナウイルス感染防止のため下記の対策を講じている。また、感染状況に応じ無観客開催を併用した。2020年8月から開始したYouTubeの配信は継続的に行っており、4月フィリピン編、11月ヨーロッパ一周バックパッカー1人旅編の再生回数は1000回を超えている。8月のウズベキスタン編が延期となったが、1月に開催することができた。7月のロシア編及び3月のリトアニア編は、現地と中継を繋げて開催した。

※新型コロナウイルス感染防止対策

- ・人数を制限しての実施(20名又は10名)
- ・飲食の提供を中止
- ・座席の十分な間隔を確保
- ・参加者の検温や体調の確認
- ・マスク着用、アルコール消毒の徹底
- ・いばらきアマビエちゃんの登録

(イ) 日本・外国文化体験

SNSを活用した料理教室の実施

【概要】

現在、HP に公開している「こどもも作れる世界の料理」の一環で、キルギス料理の動画を撮影し、協会 HP や YouTube にて紹介した。

【実績】

- ①期 日：1月22日
- ②場 所：春日交流センター調理室
- ③講 師：ボロトベック クズ サイカル氏
- ④内 容：キルギス料理「ディムラマ」の調理を動画撮影、編集して、HP 等で紹介する。

(ウ) 世界のうまいもんをつくばで

【概要】

つくば市中心地区(TX つくば駅の近く)がにぎやかになるように、外国人との文化交流を図ることを目的として、ランタンアートに合わせて開催する。

【実績】

新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止

3 おもてなし英会話

【概要】

つくば市に来訪する外国人観光客やつくば市在住外国人に、シンプルな英語表現を用いて相手の立場に立った案内ができるよう「おもてなし英会話」講座を行った。

新型コロナウイルス感染防止の観点から、Zoom 利用によるオンライン講座として実施した。

【実績】

- ①期 日：11月20日、12月4日 全2回、各日1時間
- ②場 所：Zoom 利用によるオンライン講座
- ③参加者：11月20日24人、12月4日22人
- ④参加費：無料

4 通訳・翻訳・ホームステイ・文化紹介、ボランティア派遣

【概要】

各種団体からの要請に基づき登録ボランティアに依頼・派遣し、国際交流や多文化共生の推進に寄与している。

【実績】

①通訳:0件

(茨城県立荖崎高等学校保護者面談、タガログ語依頼1件有、該当者なし)

②翻訳:2件(つくば市ライフプランすこやか2021版、英語・中国語)

※他、つくば市国際交流室からの依頼に基づき、翻訳者3名を推薦した。(韓国語、ポルトガル語、スペイン語、各一名)

③ホームステイ:0件

④文化紹介:0件

※この宮保育所からサンタクロース派遣依頼があったが、新型コロナウイルス感染防止の観点から派遣を見合わせた。

5 シティチャットカフェ

【概要】

筑波大学および協会の共催事業としてオンラインにて実施した。毎回、筑波大学留学生4～5名がコーディネーターとして参加、一班4人程度のグループに分かれ英語や日本語でフリートークを行った。

【実績】

①開催回数:年14回

②場所:Zoom 利用によるオンライン開催

③参加者:各回20～25人程度

④参加費:無料

6 姉妹・友好都市等交流事業

【概要】

文化体験やホームステイなどを通して、未来を担う両国の青少年達が、お互いの考えや価値観を知り・理解して、将来に両国の懸け橋となることを目的に実施する予定だったが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため開催を延期した。

交流活動の継続のため、新たな取組みとしてオンライン (Zoom) を使い、工作及び料理による交流を実施した。

【実績】

期日	タイトル	内容	参加者
11月17日	ホジャギ	コースター作り	12名
11月27日	料理	タッカルビ、海苔ナムル	12名
12月4日	ハンジ工芸	韓紙を使ったティッシュ箱作り	14名
12月11日	料理	海鮮チヂミ、大根のセンチェ	12名

協力:KOREA 文化交流協会

7 他団体との協働・連携

(ア) やさしいにほんごで考えましょう 地震と防災

【概要】

こどもを育てている外国人を対象に、地震が起きた時にどうするか、又はどのように地震に備えるかなどについて、「やさしい日本語」を使って解説した。

【実績】

- ①期 日:9月11日
- ②場 所:オンライン(Zoom)
- ③講 師:水谷浩子氏(防災士)
- ④参加者:34人、スタッフ:7人
- ⑤主 催:筑波大学社会貢献プロジェクト にほんごでおしゃべり!プロジェクトチーム
- ⑥共 催:つくば市国際交流協会
- ⑦後 援:つくば市、つくば市教育委員会

(イ) つくばワールドフットサル 2021

【概要】

スポーツによる国際交流を図るため、つくば市など様々な団体による実行委員会で実施し、協会は、登録のある外国人を中心に参加者を募り、主にイベント会場内の飲食ブースの運営を担う。

【実績】

コロナウイルス感染拡大防止のため中止

C 情報収集・周知・ニーズ調査事業(対象:外国人・日本人)

1 ニーズ調査ホームページ、facebook、Link! 発行・

(ア) ホームページ・facebook

【概要】

当協会の事業を広く周知するため、可能な限りリアルタイムに情報を発信する。

【実績】

イベント案内、報告、後援団体の情報を随時掲載した。

(イ) Link! 発行

【概要】

当協会の事業を広く周知するため、ニュースレターとして「Link!」を発行し、活動状況報告や直近のイベント予定などを掲載した。

【実績】

発行：Link! 第13号(2021年11月)及び第14号(2022年3月)を発行。

発行部数：各号、1,500部

配布先：賛助会員及び協会窓口にて配布したほか、つくば市中央図書館、窓口センター、交流センターなど市内各公共施設に配布した。

(ウ) ニーズ調査(座談会)

【概要】

外国人のニーズ把握が難しいことから、国別や職業、年代別に集まっていたき、率直な意見を伺うことで、協会事業の計画立案への参考資料とすることを目的に実施する。

【実績】

新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止

なお、市国際交流室で実施した外国人意識調査の結果も踏まえ、事業計画に反映していくこととする。

2 賛助会員募集

【概要】

協会の支援者及び自主財源を得ることで、安定した協会運営を維持する。

【実績】

個人会員：131口、 団体会員：1口、 法人会員：2口

会費合計：312,000円

D 旅券発給支援に関する事業(対象:日本人)

【概要】

つくば市民の旅券申請手続きに必要な印紙・証紙、葉書、切手などの販売及び証明写真の撮影を行うことで、市民へのサービス提供と当協会の財源確保を図る。

【実績】

年度別、パスポート用印紙・証紙セット販売及び写真撮影件数の推移

(単位:件)

年 度	印紙・証紙セット販売数			写真撮影
	10年	5年	12歳未満	
H25	4,448	2,638	980	3,192
H26	4,493	2,461	1,147	3,561
H27	4,738	2,500	1,212	3,838
H28	5,583	2,609	1,263	4,417
H29	5,672	2,788	1,350	3,252
H30	6,197	2,823	1,472	3,650
H31(2019)	5,945	2,767	1,381	3,323
R2 (2020)	1,075	288	139	790
R3 (2021)	1,048	311	217	834

※ R3 (2021)年度も、前年同様、新型コロナウイルスの影響により、旅券申請者が大幅に減少したことから、販売等収入が2019年度比の約8割減となっている。

2021 年度決算報告書

〔 自:2021 年 4 月 1 日 〕

至:2022 年 3 月 31 日

一般財団法人つくば市国際交流協会

貸借対照表

2022年 3月31日現在

(単位:円)

科 目	当年度	前年度	増 減
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	15,200,483	14,849,384	351,099
未収金	81,785	216,203	△ 134,418
棚卸資産	7,166,478	8,151,483	△ 985,005
前払費用	8,328	7,808	520
流動資産合計	22,457,074	23,224,878	△ 767,804
2. 固定資産			
(1)基本財産			
預金	3,000,000	3,000,000	0
基本財産合計	3,000,000	3,000,000	0
(2)特定資産			
退職給付引当資産	4,929,000	4,037,000	892,000
特定資産合計	4,929,000	4,037,000	892,000
固定資産合計	7,929,000	7,037,000	892,000
資産合計	30,386,074	30,261,878	124,196
II 負債の部			
1. 流動負債			
短期借入金	4,000,000	4,000,000	0
未払金	3,492,258	3,425,608	66,650
前受金	48,000	0	48,000
預り金	593,159	536,387	56,772
流動負債合計	8,133,417	7,961,995	171,422
2. 固定負債			
退職給付引当金	4,929,000	4,037,000	892,000
固定負債合計	4,929,000	4,037,000	892,000
負債合計	13,062,417	11,998,995	1,063,422
III 正味財産の部			
1. 指定正味財産			
寄付金	3,000,000	3,000,000	0
指定正味財産合計	3,000,000	3,000,000	0
(うち基本財産への充当額)	(3,000,000)	(3,000,000)	(0)
2. 一般正味財産			
その他一般正味財産	14,323,657	15,262,883	△ 939,226
一般正味財産合計	14,323,657	15,262,883	△ 939,226
正味財産合計	17,323,657	18,262,883	△ 939,226
負債及び正味財産合計	30,386,074	30,261,878	124,196

正味財産増減計算書

2021年4月1日から2022年3月31日まで

(単位:円)

科 目	当年度	前年度	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
基本財産運用益	51	255	△ 204
基本財産受取利息	51	255	△ 204
特定資産運用益	0	17	△ 17
特定資産受取利息	0	17	△ 17
事業収益	36,099,312	33,681,624	2,417,688
旅券発給支援に関する事業収益	36,099,312	33,681,624	2,417,688
受取補助金等	32,213,521	31,555,714	657,807
受取地方公共団体補助金	32,213,521	31,555,714	657,807
受取負担金	745,647	714,347	31,300
受取負担金	745,647	714,347	31,300
受取会費	312,000	640,000	△ 328,000
賛助会員受取会費	312,000	640,000	△ 328,000
受取協賛金	0	0	0
受取協賛金	0	0	0
雑収益	130,224	2,992,394	△ 2,862,170
受取利息	315	244	71
雑収益	129,909	2,992,150	△ 2,862,241
経常収益計	69,500,755	69,584,351	△ 83,596
(2) 経常費用			
事業費	50,939,139	51,374,400	△ 435,261
国際交流事業費	13,877,626	15,544,472	△ 1,666,846
国際交流人件費(職員)	9,335,236	10,940,266	△ 1,605,030
国際交流人件費(会計年度職員)	1,848,299	2,389,723	△ 541,424
国際交流事業費	2,694,091	2,214,483	479,608
旅券発給支援に関する事業費	37,061,513	35,829,928	1,231,585
管理費	19,500,842	17,478,742	2,022,100
人件費	12,531,680	10,808,011	1,723,669
本部運営費	6,969,162	6,670,731	298,431
経常費用計	70,439,981	68,853,142	1,586,839
評価損益等調整前当期経常増減額	△ 939,226	731,209	△ 1,670,435
評価損益等計	0	0	0
当期経常増減額	△ 939,226	731,209	△ 1,670,435
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額			
当期一般正味財産増減額	△ 939,226	731,209	△ 1,670,435
一般正味財産期首残高	15,262,883	14,531,674	731,209
一般正味財産期末残高	14,323,657	15,262,883	△ 939,226
II 指定正味財産増減の部			
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	3,000,000	3,000,000	0
指定正味財産期末残高	3,000,000	3,000,000	0
III 正味財産期末残高	17,323,657	18,262,883	△ 939,226

正味財産増減計算書内訳表

2021年4月1日から2022年3月31日まで

(単位:円)

科 目	公益目的事業	収益事業	法人会計	内部取引 消去	合 計
I 一般正味財産増減の部					
1. 経常増減の部					
(1) 経常収益					
基本財産運用益	0	0	51	0	51
基本財産受取利息	0	0	51	0	51
特定資産運用益	0	0	0	0	0
特定資産受取利息	0	0	0	0	0
事業収益	0	36,099,312	0	0	36,099,312
旅券発給支援に関する事業収益	0	36,099,312	0	0	36,099,312
受取補助金等	13,655,626	0	18,557,895	0	32,213,521
受取地方公共団体補助金	13,655,626	0	18,557,895	0	32,213,521
受取負担金	221,947	0	523,700	0	745,647
受取負担金	221,947	0	523,700	0	745,647
受取会費	0	0	312,000	0	312,000
賛助会員受取会費	0	0	312,000	0	312,000
受取協賛金	0	0	0	0	0
受取協賛金	0	0	0	0	0
雑収益	53	68,694	61,477	0	130,224
受取利息	53	78	184	0	315
雑収益	0	68,616	61,293	0	129,909
経常収益計	13,877,626	36,168,006	19,455,123	0	69,500,755
(2) 経常費用					
事業費	13,877,626	37,061,513	0	0	50,939,139
国際交流事業費	13,877,626	0	0	0	13,877,626
国際交流人件費(職員)	9,335,236	0	0	0	9,335,236
国際交流人件費(会計年度任用職員)	1,848,299	0	0	0	1,848,299
国際交流事業費	2,694,091	0	0	0	2,694,091
旅券発給支援に関する事業費	0	37,061,513	0	0	37,061,513
管理費	0	0	19,500,842	0	19,500,842
人件費	0	0	12,531,680	0	12,531,680
本部運営費	0	0	6,969,162	0	6,969,162
経常費用計	13,877,626	37,061,513	19,500,842	0	70,439,981
評価損益等調整前当期経常増減額	0	△ 893,507	△ 45,719	0	△ 939,226
評価損益等計	0	0	0	0	0
当期経常増減額	0	△ 893,507	△ 45,719	0	△ 939,226
2. 経常外増減の部					
(1) 経常外収益					
経常外収益計	0	0	0	0	0
(2) 経常外費用					
経常外費用計	0	0	0	0	0
当期経常外増減額					
他会計振替額	0	0	0	0	0
当期一般正味財産増減額	0	△ 893,507	△ 45,719	0	△ 939,226
一般正味財産期首残高	0	12,859,412	2,403,471	0	15,262,883
一般正味財産期末残高	0	11,965,905	2,357,752	0	14,323,657
II 指定正味財産増減の部					
当期指定正味財産増減額	0	0	0	0	0
指定正味財産期首残高	0	0	3,000,000	0	3,000,000
指定正味財産期末残高	0	0	3,000,000	0	3,000,000
III 正味財産期末残高	0	11,965,905	5,357,752	0	17,323,657

財務諸表に対する注記

1. 重要な会計方針

(1) 棚卸資産の評価基準及び評価方法

最終仕入原価法によっている。

(2) 引当金の計上基準

退職給付引当金…職員の退職金の支給に備えるため、定年退職及び自己都合による退職支給額に相当する金額を計上している。

(3) 消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は、税込方式によっている。

2. 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。 (単位:円)

科目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
預金	3,000,000	0	0	3,000,000
小計	3,000,000	0	0	3,000,000
特定資産				
退職給付引当資産	4,037,000	892,000	0	4,929,000
小計	4,037,000	892,000	0	4,929,000
合計	7,037,000	892,000	0	7,929,000

3. 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。 (単位:円)

科目	当期末残高	(うち指定正味財産からの充当額)	(うち一般正味財産からの充当額)	(うち負債に対応する額)
基本財産				
預金	3,000,000	(3,000,000)	(-)	-
小計	3,000,000	(3,000,000)	(-)	-
特定資産				
退職給付引当資産	4,929,000	(-)	(-)	(4,929,000)
小計	4,929,000	(-)	(-)	(4,929,000)
合計	7,929,000	(3,000,000)	(-)	(4,929,000)

4. 補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額および残高

補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額および残高は、次のとおりである。 (単位:円)

補助金等の名称	交付者	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高	貸借対照表上の記載区分
補助金						
一般財団法人つくば市国際交流協会補助金	つくば市	-	32,213,521	32,213,521	-	-
合計		-	32,213,521	32,213,521	-	

附属明細書

1. 基本財産及び特定資産の明細

(単位:円)

区分	資産の種類	期首帳簿価額	当期増加額	当期減少額	期末帳簿価額
基本財産	預金	3,000,000	-	-	3,000,000
	基本財産計	3,000,000	0	0	3,000,000
特定資産	退職給付引当資産	4,037,000	892,000	-	4,929,000
	特定資産計	4,037,000	892,000	0	4,929,000

2. 引当金の明細

(単位:円)

科目	期首残高	当期増加額	当期減少額		期末残高
			目的使用	その他	
退職給付引当金	4,037,000	892,000	0	0	4,929,000

財産目録

2022年3月31日現在

(単位:円)

貸借対照表科目		場所・物量等	使用目的等	金額
(流動資産)				
	現金	手元保管	運転資金として	437,745
	預金	普通預金	運転資金として	14,762,738
		常陽銀行	公益事業の運転資金として	2,120,564
		常陽銀行	旅券発給支援事業の運転資金として	9,262,523
		常陽銀行	管理事業の運転資金として	2,584,838
		常陽銀行	預り金用として	794,813
	未収金		3月分売りさばき手数料他	81,785
	棚卸資産		印紙・証紙在庫	7,166,478
	前払費用		4月分借入金利息ほか	8,328
流動資産合計				22,457,074
(固定資産)				
基本財産	預金	定期預金 常陽銀行	基本財産運用益はつくば市国際交流 協会事業の財源として使用	3,000,000 3,000,000
特定資産	預金	定期預金 常陽銀行	退職給付引当金の支払い財源として 積み立てている	4,929,000 4,929,000
固定資産合計				7,929,000
資産合計				30,386,074
(流動負債)				
	短期借入金	常陽銀行	旅券旅券発給支援事業の運転資金として	4,000,000
	未払金		3月分賃金ほか	3,492,258
	前受金		講座受講料ほか	48,000
	預り金			593,159
	源泉所得税		源泉所得税	19,269
	ほか所得税		職員、臨時職員分	98,488
	源泉市県民税		源泉市県民税	254,100
	社会保険		職員、臨時職員分	161,802
	駐車場代		駐車場代として	59,500
流動負債合計				8,133,417
(固定負債)				
	退職給付引当金		職員に対する退職金の支払いに備えたもの	4,929,000
固定負債合計				4,929,000
負債合計				13,062,417
正味財産				17,323,657

収支計算書

2021年4月1日から2022年3月31日まで

(単位:円)

科 目	予算額	決算額	差 異
I 事業活動収支の部			
1. 事業活動収入			
基本財産運用収入	1,000	51	949
基本財産利息収入	1,000	51	949
特定資産運用収入	0	0	0
特定資産利息収入	0	0	0
事業収入	34,248,000	36,099,312	△ 1,851,312
旅券発給支援に関する事業収入	34,248,000	36,099,312	△ 1,851,312
補助金等収入	34,000,000	32,213,521	1,786,479
地方公共団体補助金収入	34,000,000	32,213,521	1,786,479
負担金収入	2,139,000	745,647	1,393,353
受取負担金収入	2,139,000	745,647	1,393,353
会費収入	906,000	312,000	594,000
賛助会員会費収入	906,000	312,000	594,000
協賛金収入	370,000	0	370,000
協賛金収入	370,000	0	370,000
雑収入	61,000	130,224	△ 69,224
受取利息収入	1,000	315	685
雑収入	60,000	129,909	△ 69,909
事業活動収入計	71,725,000	69,500,755	2,224,245
2. 事業活動支出			
事業費支出	53,894,000	50,373,139	3,520,861
国際交流事業費支出	18,043,000	13,311,626	4,731,374
旅券発給支援に関する事業費支出	35,851,000	37,061,513	△ 1,210,513
管理費支出	18,542,000	19,174,842	△ 632,842
人件費支出	10,347,000	12,205,680	△ 1,858,680
本部運営費支出	8,195,000	6,969,162	1,225,838
事業活動支出計	72,436,000	69,547,981	2,888,019
事業活動収支差額	△ 711,000	△ 47,226	△ 663,774
II 投資活動収支の部			
1. 投資活動収入			
投資活動収入計	0	0	0
2. 投資活動支出			
特定資産取得支出	892,000	892,000	0
退職給付引当資産取得支出	892,000	892,000	0
投資活動支出計	892,000	892,000	0
投資活動収支差額	△ 892,000	△ 892,000	0
III 財務活動収支の部			
1. 財務活動収入			
財務活動収入計	0	0	0
2. 財務活動支出			
借入金返済支出	0	0	0
短期借入金返済支出	0	0	0
財務活動支出計	0	0	0
財務活動収支差額	0	0	0
当期収支差額	△ 1,603,000	△ 939,226	△ 663,774
前期繰越収支差額	16,705,000	19,262,883	△ 2,557,883
次期繰越収支差額	15,102,000	18,323,657	△ 3,221,657

収支計算書に対する注記

1. 資金の範囲

資金の範囲には、現金預金、未収金、棚卸資産、前払費用、未払金、前受金及び預り金を含めている。
 なお、前期末及び当期末残高は、下記2に記載するとおりである。

2. 次期繰越収支差額に含まれる資産及び負債の内訳

(単位:円)

科 目	前期末残高	当期末残高
現金預金	14,849,384	15,200,483
未収金	216,203	81,785
棚卸資産	8,151,483	7,166,478
前払費用	7,808	8,328
合計	23,224,878	22,457,074
未払金	3,425,608	3,492,258
前受金	0	48,000
預り金	536,387	593,159
合計	3,961,995	4,133,417
次期繰越収支差額	19,262,883	18,323,657

2022年（令和4年）度事業計画書

〔 自：2022年4月1日
至：2023年3月31日 〕

一般財団法人つくば市国際交流協会

2022年（令和4年）度事業計画（方針）

当協会は、2013年（平成25年）2月に一般財団法人として設立され、同年4月から業務を開始し8年が経過しました。

2022年（令和4年）1月1日現在、つくば市には135か国9,968人の外国人が居住し、国籍別では、中国籍者が最も多く、次いで、ベトナム、韓国、インド、フィリピンの順となっています。特に、ベトナム国籍者は2013年と比較して約9.6倍となっています。

このような中、2020年（令和2年）初頭から始まった新型コロナウイルス感染拡大は今もおさまる気配はなく、当協会事業においても、一部で中止や延期など当初の計画どおりに実施できない状況が続いています。

一方で、大人から子どもまで幅広い世代に対する日本語支援は、年々必要性が増しています。コロナ禍においては、オンラインを活用しながら事業を進めておりますが、継続していくためには、多くのボランティアや団体等の協力が欠かせません。

しかしながら、ボランティアをするためには継続的な研修が必要であり、加えてオンラインならではの課題や、共働き家庭の増加などの影響もあり、活動できるボランティアの確保が難しくなっています。

2023年（令和5年）は、当協会の財団法人化から10年が経過し節目の年になります。

また、同年のつくばセンタービル、リニューアルに合わせ、当協会に求められている国際交流機能について、関係各所と検討する必要があります。

2022年（令和4年）度は、このような状況を鑑み、引き続き、行政、教育関係及び関係団体等と連携し、より強い体制を整えるとともに、下記の3点を重点目標として取り組みを進めます。

1. コロナ禍及び収束後を想定した事業計画

新型コロナウイルス感染拡大防止対策を徹底しながら対面で事業を行えるように工夫します。また、オンラインを活用することで自宅や職場などから事業に参加することが可能となったため、コロナ禍に得た新たな手法を積極的に取り入れます。

2. ボランティアが参加しやすい環境づくり

これまで当協会では、多くの事業をボランティアの皆さんと共に実施してきましたが、新型コロナウイルスに感染することへの懸念や共働き家庭の増加、労働年齢の延長などにより、従来の内容では、活動できるボランティアの確保が難しくなりました。これらのことから、ボランティアが参加しやすい事業展開を検討し実施します。

3. 協会10周年事業及びつくばセンタービル、リニューアルに伴う、当協会に求められる国際交流機能の検討

2023年（令和5年）は、当協会の財団法人化から10年が経過し節目の年になり、つくばセンタービル、リニューアルオープンに合わせ、当協会がつくば市や市民などから求められている国際交流の機能について、改めて検討する必要があると考えています。

ついては、10周年事業のための実行委員会を発足させ、2023年のリニューアルオープンに新たな取り組みを始められるよう準備を進めていきます。

今後も、当協会が多様な人々と共に歩むための、外国人支援や市民交流のあり方等について、市や関係機関と連携しながら協議を進めます。

年度別 事業計画 比較表

国際交流事業

2022 年度事業計画
A 外国人生活支援事業（対象：外国人）
1 日本語（大人向け） （1）日本語講座 （拡充） （2）日本語ボランティア講師入門講座
2 こども日本語・就学進学支援 （1）こども日本語指導者研修会 （2）こども日本語勉強会（日本語学習相談） （3）小中学校就学・高校進学ガイダンス （4）こども日本語支援プラットフォーム会議
3 医療通訳ボランティア育成・派遣 （拡充）
4 メディカル英会話講座
5 やさしい日本語で防災講座 （新規）
文化交流事業（対象：日本人・外国人）
1 フェスティバル（国際交流フェア）
2 文化交流 （1）世界お茶のみ話 （2）日本・外国文化体験
3 姉妹友好都市交流 （拡充）
4 おもてなし英会話 （名称変更）
5 ボランティア募集・派遣 （1）通訳・翻訳・ホームステイ・文化紹介募集・派遣 （2）ボランティア交流会 （新規）
6 シティチャットカフェ
C 情報収集・周知・ニーズ調査事業（対象：外国人・日本人）
1 ホームページ・facebook・Link!発行・ニーズ調査（座談会）
2 賛助会員募集
3 10周年記念事業準備会 （新規）
旅券発給支援事業
D 旅券発給支援に関する事業（対象：日本人）

2021 年度事業計画
A 外国人生活支援事業（対象：外国人）
1 日本語（大人向け） （1）日本語講座 （2）日本語ボランティア講師入門講座
2 こども日本語・就学進学支援 （1）こども日本語指導者研修会 （2）プレスクール・プレクラス （3）こども日本語勉強会 （4）こども日本語支援プラットフォーム会議
3 医療通訳ボランティア養成・派遣
4 メディカル英会話講座
5 外国人のための相談室 （廃止）
B 文化交流事業（対象：日本人・外国人）
1 フェスティバル（国際交流フェア）
2 文化交流 （1）世界お茶のみ話 （2）日本・外国文化体験 （3）世界のうまいもんをつくばで （廃止）
3 姉妹友好都市交流（1年延期）
4 やさしい英語でおもてなし講座
5 通訳・翻訳・ホームステイ・文化紹介ボランティア募集・派遣
6 シティチャットカフェ
C 情報収集・周知・ニーズ調査事業（対象：外国人・日本人）
1 ホームページ・facebook・Link!発行・ニーズ調査（座談会）
2 賛助会員募集
旅券発給支援事業
D 旅券発給支援に関する事業（対象：日本人）

2022年（令和4年度）度つくば市国際交流協会事業一覧表

国際交流事業 ※（新規）（拡充）は、前年度当初計画との比較

A 外国人生活支援事業（対象：外国人）	
1	日本語（大人向け） （1）日本語講座 （拡充：対面授業の復活拡大、講師の待遇改善） （2）日本語ボランティア講師入門講座
2	こども日本語・就学進学支援 （1）こども日本語指導者研修会 （2）こども日本語勉強会（日本語学習相談） （3）小中学校就学・高校進学ガイダンス （4）こども日本語支援プラットフォーム会議
3	医療通訳ボランティア育成・派遣 （拡充：オンライン通訳の導入）
4	メディカル英会話講座
5	やさしい日本語で防災講座 （新規）
B 文化交流事業（対象：日本人・外国人）	
1	つくばフェスティバル（国際交流フェア）
2	文化交流 （1）世界お茶のみ話 （2）日本・外国文化体験
3	姉妹友好都市交流 （拡充：大田市とのオンライン講座の開催）
4	おもてなし英会話
5	ボランティア募集・派遣 （1）通訳・翻訳・ホームステイ・文化紹介ボランティア募集・派遣 （2）ボランティア交流会 （新規）
6	シティチャットカフェ
C 情報収集・周知・ニーズ調査事業（対象：外国人・日本人）	
1	ニーズ調査・広報（ホームページ・facebook・Link!発行）
2	賛助会員募集
3	10周年記念事業準備会 （新規）
D 旅券発給支援に関する事業（対象：日本人）	

旅券発給支援事業

D 旅券発給支援に関する事業（対象：日本人）

2022年（令和4年）度つくば市国際交流協会事業詳細

国際交流事業

A 外国人生活支援事業（対象：外国人）

1 日本語（大人向け）

(1) 日本語講座 ★【2022事業方針1. 2に該当】

①【新規・拡充・継続・縮小・廃止】

②目的： 市内在住外国人を対象に、日常生活に必要な日本語（入門から初級）の修得を目的とする。

③事業の工夫、予算上の特徴

日本語指導ができるボランティアの確保とレベルアップのため、待遇（謝礼増）を改善した。また、対面授業復活に向けて、つくばカピオの会議室を使用して開催することとし、会場使用料を計上した。

年間延べ受講者数 本年度 80人

次年度340人（前年比約4.2倍）

④概要：

- ・クラス：。対 面 → 昼5クラス、夜5クラス、
。オンライン → 昼1クラス、夜1クラス
 - ・期 間：4月～9月、10月～3月
 - ・場 所：つくばカピオで調整中
 - ・授業数：昼夜クラス 各期15回
(1回1.5時間、合計30時間)
 - ・定 員：各クラス15名 (2019年度予算比較50人増)
- ※ 日本語ボランティア講師（TIVONAの会）が担当する。

(2) 日本語ボランティア講師入門講座 ★【2022事業方針2に該当】

①【新規・拡充・継続・縮小・廃止】から選択

②目的： 日本語講座で講師をするボランティアを養成することを目的とする。

③事業の工夫、予算上の特徴

2021年度に、実際の授業日に合わせて、講座の日程を設置した。これにより、活動できるボランティアの確保につながるのではないかと期待しているため、2022年度も継続して実施する。

④概要：

- ・回 数：年1回（4日間程度）

2 こども日本語・就学・進学支援

(1) こども日本語指導者研修会 ★【2022事業方針2に該当】

①【新規・拡充・**継続**・縮小・廃止】

②目的： 外国につながる児童生徒に対する日本語教育について、こどもに対する日本語の指導方法を学び、こども日本語勉強会のボランティア講師として活動する人材を養成することを目的とする。

③事業の工夫、予算上の特徴

- ・ 実際の活動者は十分とは言えず不足しがちであるため、研修会は継続する必要がある。

④概要：

- ・ 実施時期：7月頃
- ・ 回数：4回（座学2回、実習2回）
- ※ 研修会修了者は、当協会にボランティア登録を行うとともに、下記（2）で活動するほか、教育委員会の求めに応じ、市内小中学校において日本語指導に協力する。

(2) こども日本語勉強会（日本語学習相談）★【2022事業方針1に該当】

①【新規・拡充・**継続**・縮小・廃止】

②目的： 近年、市内小中学校では、日本語支援が必要な児童生徒が増加していることから、個々のレベルに合わせ、放課後などに日本語学習支援を行うことを目的とする。

③事業の工夫、予算上の特徴

- ・ 2021年度から始めた事業であり、参加者、保護者、ボランティア講師、つくばこども日本語支援プラットフォーム会議から出された課題や意見に対応しながら実施する。
- ・ 2021年度後期から児童生徒の募集対象地域を拡大したこと、（1）で講師の人数が増える可能性があることから、報償費の増額を実施する。

④概要：

- ・ 期間：5月～10月、11月～3月
（4月及び10月後半は保護者面談、教材準備など）
- ・ 場所：対面及びオンライン
- ・ 対象：小学5年生以上18歳まで
- ・ 回数：75回程度（前期40回、後期35回）
- ※ 日本語学習方法などの疑問に対するアドバイスなどを行う。様々な状況に対応するために、オンライン開催も柔軟に対応していく。

(3) 小中学校就学・高校進学ガイダンス（名称変更）

①【新規・拡充・**継続**・縮小・廃止】

②目的： 日本の学校制度を解説することにより、外国につながる児童生徒及び保護者が就学や進学に対して早い段階から準備できるように周

知することを目的とする。

③事業の工夫、予算上の特徴

- ・ 小中学校では、進学説明会などを実施しているが、言葉の問題などで内容を理解できていないことも多い。参加者の母語を使って解説することで理解を深めるよう努める。
- ・ 名称を「プレスクール・プレクラス」から「ガイダンス」に変更する。その理由は、現在全国各地で実施しているプレスクールとは内容が違い、当協会では、ガイダンスを中心に実施しているため内容にあったタイトルに変更する。
- ・ 「ガイダンス」に併せて、こどもの日本語力チェックや日本語学習相談会を実施し、日本語学習方法などについて提案する。

④概要：

- ・ 期間：年1回（←回数2回から1回に減）
 - ・ 場所：市内施設など
- ※ 昨年は、年2回実施していたが、内容はほぼ同じになるため、実施回数を1回にし、要望があれば学校訪問も検討する。

(4) つくば子ども日本語支援プラットフォーム会議

①【新規・拡充・~~継続~~・縮小・廃止】

- ### ②目的：
- つくば市内の小中学校において日本語学習が必要な児童生徒への支援の方法について、日本語教育に携わる団体等が情報共有又は支援の方法について情報交換し、具体的な活動に繋げていく機会を作ることを目的とする。

③事業の工夫、予算上の特徴

- ・ 実際の学校現場で受け入れられる支援に繋がれるような情報交換を目指す。
- ・ プレスクールについて、全国の先進地域の事例を共有し、つくば版プレスクールにつなげる。

④概要：

- ・ 実施回数：年3回程度
- ・ 参加団体：筑波大学、筑波学院大学、茨城 NPO センターコモンズ、つくば市教育局学び推進課、つくば市民部国際交流室など

3 医療通訳ボランティア育成・派遣 ★【2022 事業方針 1. に該当】

①【新規・~~拡充~~・継続・縮小・廃止】

- ### ②目的：
- 市内在住外国人が病院で安心して受診できるよう患者の母語で通訳を行うことを目的とする。

③事業の工夫、予算上の特徴

平成 31 年度（2019 年度）からは、医療通訳ボランティア派遣に関

する協定締結済み医療機関への派遣に制度変更となったため、より多くの医療機関と協定締結を進める。

また、感染症対策として遠隔通訳の導入を検討し、対面に加えオンラインによる通訳方法を整備する。このことにより医療機関及び医療通訳ボランティア双方が安心して利用できる制度構築を目指す。

④概要：

ア：医療通訳ボランティア派遣

- ・ 派遣：随時（病院からの要請による）
- ・ 派遣先：医療通訳ボランティア派遣協定を締結した病院、クリニック等
- ・ 対応言語：英語・中国語・スペイン語・ポルトガル語

イ：医療通訳ボランティア勉強会

- ・ 回数：2～3か月毎開催（言語により異なる）
- ・ 場所：つくば市内またはオンラインミーティング

4 メディカル英会話講座

①【新規・拡充・継続・縮小・廃止】

②目的： 外国人患者が病院で受診する際に、受付から診療まで英語でスムーズな対応ができるように、基本的な話し方、用語などを習得すること、医療通訳ボランティアの派遣制度を周知することを目的とする。

③事業の工夫、予算上の特徴

- ・ コロナ禍に対応するため、オンラインでの開催も想定する。また、受講料の設定を安くして、受講しやすくする。

④概要：

- ・ 回数：年1回11月
- ・ 場所：つくば市内またはオンライン
- ・ 対象：病院・クリニックの受付事務担当者、看護師、医師など医療従事者

5 やさしい日本語で防災講座

①【新規・拡充・継続・縮小・廃止】

②目的： 外国人につながる方々を対象に、防災に関する講演や体験会を行い、防災に関する知識や対処方法を周知することを目的とする。

③事業の工夫、予算上の特徴

- ・ 防災や、やさしい日本語に対する専門知識や経験のある外部団体と共催し、外国人に対して理解しやすい内容で周知できるよう工夫する。また、アイラブつくばなどの助成金獲得についても検討する。

④概要：

- ・ 期日：9月または10月の防災の日前後
- ・ 回数：年1回～2回
- ・ 場所：市公共施設またはフィールドワーク
- ・ 講師：防災士など
- ・ 参加者：各回30人程度

B 文化交流事業（対象：日本人・外国人）

1 フェスティバル（国際交流フェア）

①【新規・拡充・**継続**・縮小・廃止】

②目的： イベントにおいて、世界の舞踊や歌の披露、料理実演販売、国際理解プログラムなどを行うことで、多様な人々の相互理解や市民交流、地域参画など、国際交流と多文化共生社会の推進を目的とする。

③事業の工夫、予算上の特徴

- ・ 新型コロナウイルスのため、開催方法や規模については、柔軟に対応する必要がある。

④概要：

- ・ 実施日：令和4年5月14日、15日（予定）
- ・ 募集团体：飲食・物販・団体紹介など25団体、

2 文化交流（世界お茶のみ話、日本・外国文化体験など）

(1) 世界お茶のみ話（講演会）★【2022事業方針1に該当】

①【新規・拡充・**継続**・縮小・廃止】

②目的： つくばを中心に居住する外国人が、母国やその周辺で起こっていることを伝え、課題を共有するとともに、日本又はつくばから何ができるのかなど、講演者と聴講者の相互理解と交流促進を目的とする。

③事業の工夫、予算上の特徴

- ・ 聴講者が発言しやすい雰囲気を作ることと心掛けるとともに、オンライン環境を生かして、海外からの参加も募る。

④概要：

- ・ 実施日：毎月第3土曜日 15：45～17：15
- ・ 回数：年12回
- ・ 場所：Biviつくば交流サロン

(2) 日本・外国文化体験★【2022事業方針1に該当】

①【新規・拡充・**継続**・縮小・廃止】から選択

②目的： 各国の料理や文化体験を通して、多文化共生（国際理解）の促進に

寄与することを目的とする。

③事業の工夫、予算上の特徴

対面で実施が難しい場合はオンライン講座も検討する。

④概要：

- ・回数：年6回程度
- ・場所：市内交流センターなど公共施設、大学など
- ・内容：日本・外国料理、各国文化体験など

3 姉妹友好都市交流 **★【2022事業方針1に該当】**

①【新規・拡充・継続・縮小・廃止】

②目的： 両国の青少年が文化体験を通して、日韓の相互理解を深め、将来の日韓の文化交流の懸け橋となるような人材を育てることを目的とする。

② 事業の工夫、予算上の特徴

- ・コロナ禍で両国間の往来ができないため、オンライン講座を両国間で実施する。
- ・コロナが十分に収束するまでは、本形態を継続する。

④概要：

- ・回数：4回程度
 - ・場所：市内公共施設
 - ・内容：料理、工作、母国紹介など
- ※ 新型コロナウイルス感染症が十分に収束せず、相互移動ができないことから、2022年度は相互訪問を延期する。

4 おもてなし英会話

①【新規・拡充・継続・縮小・廃止】

②目的： 来訪する外国人観光客やつくば市在住外国人に対して、シンプルな英語表現を用いて様々な場面で対応できるよう、外国人の観点を考慮したコミュニケーションの工夫の仕方などを身に着けることを目的とする。

③事業の工夫、予算上の特徴

「初級者向け」・「中上級者向け」など複数講座を用意し内容の差別化を図り、様々なスキルを持つ参加者に対しより幅広く対応できるよう検討していく。

④概要：

- ・回数：年1回 11月頃を予定

5 ボランティア募集・派遣

(1) 通訳・翻訳・ホームステイ・文化紹介

①【新規・拡充・**継続**・縮小・廃止】

②目的： 市民・留学生・JICA 研修員などの依頼者に対し、通訳やホームステイ等の支援を行うことを目的とする。

③事業の工夫、予算上の特徴

文化紹介については子どもにも分かりやすい資料作りを依頼し、同時にやさしいにほんごを使って説明を行うよう推奨している。

④概要：

- ・ 文化紹介：市内小学校・幼稚園・保育所、特別支援学校などで開催される国際交流イベントなどに外国人を派遣する。
- ・ 時期：随時
- ・ 通訳、翻訳：随時
- ・ ホームステイ：随時

(2) (仮称) ボランティア交流会 **★【2022 事業方針 2 に該当】**

①【**新規**・拡充・継続・縮小・廃止】

②目的： 協会に登録している各種ボランティアが交流することにより、他の活動を知るとともに、活動の機会を増加させることを目的とする。

③事業の工夫、予算上の特徴

- ・ 過去数年間に活動したボランティアの方々の体験を聞くとともに、協会の活動を活発にするための意見交換を行い、事業へ反映できるものを見つけていく。

④概要：

- ・ 期 日：12 月頃
- ・ 回 数：年 1 回
- ・ 場 所：市内公共施設
- ・ 講演者：協会登録ボランティア 10 名程度
- ・ 内 容：事例発表、グループミーティングなど
- ・ 参加人数：50 人

6 シティチャットカフェ

①【新規・拡充・**継続**・縮小・廃止】

②目的： 英語で気軽におしゃべりすることにより市内在住の外国人留学生と国際交流することを目的とする。

③事業の工夫、予算上の特徴

筑波大学留学生にコーディネーターの役割を依頼し、フレンドリー

な雰囲気づくりに寄与してもらい、より気軽に誰でも参加しやすいイベントを目指す。

④概要：

- ・ 筑波大学と共催
- ・ 回数：8回（毎月1回開催。うち協会は2回担当）
- ・ 場所：ララガーデンつくば・グローバルビレッジ、又はオンライン

C 情報収集・周知・ニーズ調査事業（対象：外国人・日本人）

1 ニーズ調査・広報

(1) ニーズ調査

①【新規・拡充・**継続**・縮小・廃止】

②目的： 外国人・または日本人が、国際交流協会に何を求めているのか、協会の進むべき方向を検討する指針とするためにニーズ調査を継続して行うことを目的とする。

③ 事業の工夫、予算上の特徴

- ・ 2021年につくば市観光基本計画及び国際交流室で外国人にアンケート調査していることから、その結果を受けて分析する。

④概要：

結果を踏まえ、次年度等の事業計画に反映する。

(2) 広報

①【新規・拡充・**継続**・縮小・廃止】

②目的： 協会の事業を広く市民に周知し、理解を促し支援者を募る。各種広報媒体を活用し情報発信を行う。

③事業の工夫、予算上の特徴

- ・ 当協会のホームページの他、市の国際交流室や他機関とも連携し、効果的な情報発信を行う。
- ・ 事業の動画を作成し、ホームページやYoutubeなどを使って紹介することにより、市民の理解を深めるとともに、ボランティア拡充にも寄与するように努める。

④概要：

- ・ ホームページやfacebook、Link!（機関誌）などを通じて周知する。
- ・ ホームページやfacebook：随時
- ・ Link!（機関誌）：年2回発行
- ・

2 賛助会員募集

①【新規・拡充・**継続**・縮小・廃止】

②目的： 外国人支援や在住外国人との交流を深めるとともに、国際交流を通して多文化共生、国際理解、姉妹・友好都市との交流や財政面からも支援いただける方を募ることを目的とする。

③事業の工夫、予算上の特徴

コロナ禍においても、多くの方に共感いただき、支援いただけるような事業展開や情報発信を進めていく。

④概要：

協会の資金面の支援者募集を行う。

個人会員 一口 2,000円／年度

団体会員 一口10,000円／年度

法人会員 一口20,000円／年度

3 (仮称) 10年記念事業準備会 (新規) ★【2022事業方針3に該当】

①【**新規**・拡充・継続・縮小・廃止】から選択

②目的： 協会設立10周年の記念事業を2023年(令和5年)のつくばセンタービルのリニューアルに合わせて実施するため、準備会(運営委員会)の設立などを行うことを目的とする。

③事業の工夫、予算上の特徴

運営委員6名(予定)

④概要：

記念事業運営委員会：年4回程度

旅券発給支援事業

D 旅券発給支援に関する事業(対象：日本人)

①【新規・拡充・**継続**・縮小・廃止】

②目的： 市民のパスポート発行に伴う利便性の向上を図るため、パスポート用写真撮影、印紙・証紙、葉書、切手等の販売を行うことを目的とする。

③事業の工夫、予算上の特徴

コロナウイルス感染拡大に伴い、売上が激減しており、配置職員の削減、窓口休止時間(担当職員の休憩時間)の設定など、人件費削減を進めてきた。当面は、現状の体制を継続する。

④概要：

・ 営業日：月曜～金曜日(土日祝、12月29日～1月3日休み)

・ 時間：午前8時30分～午後5時15分

2022 年度収支予算書

〔 自：2022 年 4 月 1 日
至：2023 年 3 月 31 日 〕

一般財団法人つくば市国際交流協会

2022年度収支予算書（資金収支計算ベース）

2022年4月1日から2023年3月31日まで

（単位：千円）

科目	当年度	前年度	増減
I 事業活動収支の部			
1 事業活動収入			
①基本財産運用収入	1	1	0
基本財産利息収入	1	1	0
②事業収入	34,728	34,248	480
旅券発給支援に関する事業収入	34,728	34,248	480
③補助金等収入	34,000	34,000	0
地方公共団体補助金収入	34,000	34,000	0
④負担金収入	2,046	2,139	△93
受取負担金収入	2,046	2,139	△93
⑤会費収入	906	906	0
賛助会会費収入	906	906	0
⑥協賛金収入	370	370	0
協賛金収入	370	370	0
⑦雑収入	1	61	△60
受取利息収入	1	1	0
雑収入	0	60	△60
事業活動収入計	72,052	71,725	327
2 事業活動支出			
①事業費支出	54,641	53,894	747
国際交流事業支出	18,310	18,043	267
給与（職員）	9,412	10,868	△1,456
給与（会計年度職員）	968	999	△31
事業費支出	7,930	6,176	1,754
旅券発給支援に関する事業支出	36,331	35,851	480
②管理費支出	18,122	18,542	△420
人件費支出	10,445	10,347	98
本部運営費支出	7,677	8,195	△518
事業活動支出計	72,763	72,436	327
事業活動収支差額	△711	△711	△0
II 投資活動収支の部			
1 投資活動収入			
投資活動収入計	0	0	0
2 投資活動支出の部			
①特定資産取得支出	892	892	0
退職給付引当資産取得支出	892	892	0
投資活動支出計	892	892	0
投資活動収支差額	△892	△892	0
III 財務活動収支の部			
1 財務活動収入			
財務活動収入計	0	0	0
2 財務活動支出			
①借入金返済支出	0	0	0
短期借入金返済支出	0	0	0
財務活動支出計	0	0	0
財務活動収支差額	0	0	0
IV 予備費支出	0	0	0
当期収支差額	△1,603	△1,603	△0
前期繰越収支差額	15,102	16,705	△1,603
次期繰越収支差額	13,499	15,102	△1,603

（注）借入金限度額 10,000,000円